

鍛錬坂



奈留高校
学校だより
第 103号

厳寒に思う

校長 下釜 祐保



年末を向かえ、寒い日が続く。冬至から15日目には「小寒」、寒の入りを迎える。「小寒」から「大寒」を経て「節分」までの約30日間は、「寒の内」で、1年で最も寒い時期といわれる。これからしばらく、寒い日が続くであろう。

好きな言葉のひとつに「麦は厳寒の冬を、稲は酷暑の夏を越さねば実を結ばない」がある。ワカメなどの海草類も寒の厳しい年ほど質がいいらしい。

この摂理は人間も例外ではないであろう。数年前に、東北地方は岩手県に知己を訪ねたことがある。北国の冬は長く、そして厳しい。春の光をじっと待ち続ける生活が長いと聞いた。我々九州育ちより、春の暖かさが大きな喜びに感じているにちがいない。女子マラソンで有名な高橋尚子さんは「何も咲かない寒い日は、下へ下へと根を伸ばせ。やがて大きな花が咲く」が座右の銘らしい。冬は人の「根」を育てる季節でもある。

辛く厳しい季節ではあるが、運動部にとっては黙々と走って足腰を鍛える時期であり、大学受験を控えた受験生もまさに今が正念場だ。世間は、年末年始でせわしいが、じっと力を蓄える厳冬の日にしよう。

歓喜溢れる春暖の日を思いつつ。



行事予定

有意義な冬休みを過ごそう



2日(金) 3年センタープレ⑥ (~3日)	16日(金) 3年学年末考査時間割発表
5日(月) 冬季補習(後期) (~7日)	17日(土) 大学入試センター試験 (~18日)
8日(木) 始業式	23日(金) 3年学年末考査 英検③(1次)
9日(金) 1・2年早朝補習開始(7:30~)	24日(土) 1・2年対外実力模試(~25日)
10日(土) 土学⑥	2年就職模試
3年センタープレ⑦(~11日)	29日(木) 3年答案返却(~30日)
11日(日) 五島市吹奏楽祭	31日(土) 土学
14日(水) 下五島地区百人一首大会	

1学年より

2014年も残りわずかとなり、2015年はすぐそこに来ています。私の年末・年始の過ごし方というと、家族や親戚が一堂に会し、お食事をしたり、紅白やら箱根駅伝やら何やらかんやらと特番のテレビを見ながら、綿入れに包まり、お茶のみかんを食べながらコタツの中でゴロゴロ……。そんな夢の生活は小中学生くらいまでで終わりました。高校生になると、皆さんと同じように課題も部活動もありました。当時の私は、少しでも正月番組などを見たいと思っていましたので、とにかく与えられた課題を1日でも早く終わらせるように努力していました。3年生ともなると、センター試験まで2・3週間程しかありませんので1秒でも長く机に向かう努力をしていました。そして現在、家族を引き連れ帰省し、寝正月。と言いたいところですが、私を奮い立たせてくれるのが、受験生の存在です。受け持ちの生徒が努力しているからこそ、私自身が頑張らなくては！！と気合が入り、数学の問題集を解いています。さて、1年生の皆さんはいつから本気になりますか？全国の同級生は始めているかもしれませんよ。受験生≠3年生。受験生=本気生なのかもしれませんね。

2学年より

2年生になって9ヶ月、高校生になって21ヶ月が過ぎました。と言われてもよくわからないのかもしれませんが、高校生活の約6割が終わったという計算になります。残された高校生活はあと4割。さて、2学期が終わってしまったわけですが、2学期にはさまざまな行事があり、8人それぞれが忙しい時を過ごしたことと思います。定期考査や学校行事、部活動などいろいろな場面で、それぞれの目標を達成したり、新たに目標を見つけて前進し続ける8人の姿を見るたび嬉しく感じました。特に、講話や奈留実践等で皆さんが書いた感想で、「たった8人でもみんな性格が違うし、いろいろな感じ方があると思った。だから、それを否定したりせず受け止めて、お互いを尊重することが大事だ。」と多くの生徒が書いてくれたことに大きな成長を感じました。来年は最高学年。この気持ちがあれば、きっと8人で一丸となって学校を盛り上げてくれるに違いない！！来年も日々前進していこう！

3学年より

平成26年も年の瀬を迎え、いよいよ高校生活も残り少なくなってきました。この1年は、3年生のみなさんにとって、人生で経験したことのないスピードで1日1日が過ぎて行ったのではないのでしょうか。感じる時間が短いということは、時間に追われていたというだけではなく、言い換えれば毎日が充実していたということです。部活、行事、就職試験、国体、勉強、勉強、勉強……。進学希望者はもちろんですが、就職希望者もこれまでの人生で最も勉強した1年だったと思います。2組の生徒は冬季休業中も補習が組まれており、進路実現に向けて最後の追い込みをかけているところです。年が明ければすぐにセンター試験、各学校の個別学力試験が待っています。全国の受験生も現在、みなさんと同じように不安と緊張の日々を送っています。奈留高生は多くの大舞台で精神的にも逞しく成長していますので、きっとこのプレッシャーを力に変えてくれるでしょう。一日の大部分、学習に取り組んできた成果を十分に発揮し、最高の結果を残せるよう最後まで一緒にがんばって行きましょう。

1月進研にむけて

1月24日(土)進研記述模試が実施されます。1年生は国・英・数の3教科、2年生は国・英・数・理・社の5教科が実施されます。模擬試験とは言わば全国大会のようなもの。目に見えない全国のライバルたちと競い合い、自分の持てる力を最大限に発揮しましょう!また、今回の模擬試験は、1年間の集大成と言っても過言ではありません。3年生は1・2年間の集大成であるセンター試験を受験します。1・2年生の皆さん、来年、再来年に向けて、まずは1月進研模試に全力で臨もうではありませんか!

センター試験にむけて

大学進学を志す約56万人の受験生を対象に、1月17日(土)、18日(日)の2日間にかけて、平成27年度大学入試センター試験が実施されます。本校受験生は五島高校で受験を行います。試験本番まであと半月あまりとなり、最後の追い込みに入っているところです。大きなプレッシャーに押し潰されそうになりながらも、その気持ちを打ち消すかのように、一生懸命学習に取り組んでいる姿勢はすばらしいです。私たち職員も、生徒たちの姿から「現役生は最後の最後まで伸びる」という言葉を確信しています。ご家庭でも最後まで激励をよろしく願います。



五島地区PTA研修会

先月11月22日(土)に、上五島の鯨賓館ミュージアムにおいて五島地区PTA研修会が行われました。講演は遠田公夫先生に「生徒が活躍し、スポットライトがあたるような「仕掛け」をすることが大事だ」という趣旨でお話をいただきました。



また、今年度は、本校の松竹健次PTA会長が「島民が一丸と奈留PTA活動」という演題で発表を行いました。体育大会やマラソン大会などにおけるPTA活動の取り組みを紹介され、小中高一貫校として奈留小中学校はもちろん、島全体の地域ぐるみで生徒を見守り、育てていると話されました。また、島民が一丸となった活動の更なる充実を決意されました。上五島まで長時間を要する交通移動にも関わらず、多数のご参加をいただき、ありがとうございました。



奈留高職員 ペンリレー

「子育て」

2014年は、我が家にとって大変な1年でした。現在は回復しましたが、8月に三男が入院し、11月には長男も入院してしまい、非常に心配な日々を送りました。このとき、子どもを皆さんの年齢まで無事に育てるのは、ものすごく大変なことだと実感させられました。きっと皆さんの保護者の方も、今まで大変な苦労があったことと思います。皆さんにはぜひ感謝の気持ちを持って生活してほしいのですが、直接伝えるのは、なかなか難しいですね。私が考える一番の方法は、今、目の前のやるべきことに一生懸命取り組むことです。勉強、部活、行事に全力で取り組み大きく成長する姿を見せることこそが、最大の恩返しになるのではないのでしょうか。



小佐々 慎也 先生

さあ、早速机に向かい、今やるべき課題に取り掛かろう!!

心に響く人生の達人セミナー

今年度は本校での勤務経験があり、当時の校歌制定委員会委員長を務め、現在、活水女子大学教授である田中俊廣先生をお招きし、『詩と故郷(ふるさと)ー愛唱歌「瞳を閉じて」、歌唱「故郷」、ポップスや歌謡曲などをめぐってー』という演題のもと講演をしていただきました。先生の生い立ちから、「瞳を閉じて」が本校愛唱歌となるまでの隠されたエピソードや歌詞の解釈説明、また故郷(ふるさと)について、「故郷は元気をもらい、心と体を解放できる場所。現在では生活は豊かになるが精神的には豊かでないといわれている。皆さんにも故郷というのはつくられていきます。故郷を大切にしたい。」とお話をさせていただきました。



イルミネーションボランティア

DonDon奈留の方と協力して、旧奈留小学校にクリスマスイルミネーションの飾り付けを行いました。

寒い日でしたが、1日がかりで、脚立などを使い木の高いところに配線を通しLEDライトを付けたり、サンタやトナカイのマスコットキャラクターを飾り付けたりしました。

例年にも増して立派な仕上がりとなり、そのきらめきが、多くの島民の方の心を癒してくれていることでしょう。



あじ料理教室 & 奈留産品祭り

11月7日・21日の2回にわたって、3年1組を対象に、岩村定子先生を講師としてお招きして、あじ料理教室を実施しました。この料理教室は、奈留支所地域振興プロジェクトの一環で、奈留産品祭り料理コンテストの試作も兼ねたものでした。最初は、魚に触るのも恐る恐るで、包丁の使い方もぎこちなかった生徒も、丁寧なご指導のおかげで、2回目には、手早く三枚おろしができるようになりました。



また、あじの捌き方だけでなく、先生には多くのアドバイスもして頂くことができました。その甲斐もあり、奈留産品祭りあじ料理コンテストでは、奨励賞に福島由夏さん、審査委員特別賞に森智依美さん、降田真衣香さんと3名も入賞することができました。奈留支所や他の関係者の方々、岩村先生ご指導ありがとうございました。



省エネについて~事務室より~

冬は電灯を点ける時間が長くなります。教室や廊下等の必要のない明かりは努めて消すよう心がけてください。

《一人ひとりの心がけで地球環境を守りましょう》

